

(別紙4(2))

事業所名: グループホームおかげ

作成日: 平成 30年 9月 11日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	「入居者や家族と職員の距離感を縮める努力を」との事で、外部評価当日も、職員の名前と顔が一致しない、判らないとのアンケート結果があったとの報告を受けた。	職員と利用者の御家族との距離感を縮める。	8月分利用料請求時に、顔写真入りで職員紹介のパンフレットを配布した。また、毎月のおかげ便りに入社・退社の職員の記事、コメントを載せるようにした。面会時など積極的に状態報告等行う様に指導している(ここに期間を要する)。	3ヶ月
2	36	骨折や転倒のリスクの回避も重要すべき点と考えるが、一方で羞恥心への配慮を行うことも個人の尊厳を守る上で重要と捉えます。入居者の倫理的配慮を重視した排泄ケアを検討する事が望まれる。	目隠しとなるスクリーンの購入、通常のトイレ介助時など羞恥心へ配慮し扉の開閉に注意する。	市販の家具店等見て回ったが、目隠しになり、本人の動きが見えるような素材がなかった為、通販サイト(アマゾン)にて発注済。普段の介助時から、お互いに注意しながら排泄介助を行う。	1ヶ月
3	35	昨年度、今年度共に夜間想定消防避難訓練が実施出来ていない。風水害等の自然災害の避難訓練が実施出来ていない。ハザードマップの周知不足と実効性の高い取り組みを期待します。	自然災害時の避難訓練の実施とハザードマップの周知。	昨年度2棟増設し階段使用の為、増設部からの出火想定をしておいた方が良いとの指導があるも、実施出来ていなかった為、8月28日夜間想定訓練を消防署を交え実施。その際、自然災害の訓練等に対し尋ねたが、避難場所も近く、実際は防災無線等で指示があったから避難は初めて下さいとの指導を受ける。無線を想定し、3、4ヶ月に1回を目安に訓練予定としている。ハザードマップ、避難場所等については外部評価当日から職員へ伝え、周知するようにしている。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。